

保護司会だより

柏地区保護司会 柏支部 流山支部 我孫子支部

第59号

柏地区保護司会
広報部会

柏市柏5-10-1
柏市役所福祉部
福祉政策課内
柏地区保護司会事務局



千葉保護観察所長 田中大輔

柏地区にある更生保護の史跡

千葉保護観察所長 田中大輔
原胤昭（はらたねあき）という人物を御存じでしょうか。胤昭は我が国の児童虐待防止活動の祖とされているほか、東京で初めて更生保護事業を開始した社会事業家として知られています。近代更生保護は、明治二十一年（一八八八年）に金原明善や川村矯一郎らが静岡県出獄人保護会を設立したことに始まりますが、胤昭はその十年後に東京出獄人保護所を開設し、行き場のない刑余者（今でいう刑務所出所者）の保護を開始しました。原胤昭というピンと来られる方もいらっしゃると思いますが、「胤」という字は、千葉氏族の流を汲む下総原氏の多くの名前に付けられる字

で、胤昭は中でも手賀原氏の末裔とされています。胤昭と遠縁にあたる原胤信は、江戸時代、キリシタンであったことから壮絶な迫害を受け、処刑された人物として有名ですが、その揺るがぬ信仰心に感銘し、胤昭もキリスト教解禁後に洗礼を受けています。その後、反政府的言論活動をしたとして胤昭自身も三ヶ月間の投獄を経験し、また、各地の更生保護事業の多くが宗教家によって始められたのと同じく、強い信仰心を持っていたことが東京出獄人保護所の開設に大きく影響しています。さて、先日、柏市手賀にある、民家を転用した旧手賀教会堂（千葉県指定有形文化財）を見に行ってきたのですが、なんと、そこから徒歩二十分の所に胤昭の墓所があることが分かり、関係者としては訪れない訳にはいかない、ということで足を延

ばしてきました。墓所は雑木林に囲まれた非常に分かりにくいところであり、その中の開けたところに原氏の沢山の墓石や供養塔が並んでいました。胤昭の墓石は比較的すぐに発見できるのですが、その背後に小さな墓石がいくつか並んでいるのが確認できます。これらは、胤昭によって埋葬された身寄りのない刑余者五十名以上の墓です。社会事業の一環と言えども、名門、原氏の神聖な場所に血縁関係のない者たちを埋葬するという、胤昭の更生保護事業に対するさまじい信念を感じることができるところです。予め調べてから訪れましたが、この光景を目の当たりにすると、改めて畏敬の念を禁じ得ませんでした。既に御存じの方も多かろうと思いますが、この柏地区に社会福祉、更生保護の重要な史跡があることをもっと多くの方々に知っていただき、改めて更生保護に思いを致していたければ幸いです。（関連記事を3面に記載）

思いやりの心



柏地区保護司会 会長 成嶋文子

令和六年四月の総会に於いて柏地区保護司会会長に就任致しました。若い頃は母に頼まれ、水府の少年院や千葉の刑務所等に運転手としてよく一緒に行きました。ですから保護司と言うボランティアの存在は、知ってはいいたものの自ら保護司になろうとは思っていませんでした。その当時を振り返ってみると、自ら進んでと言うよりは、母に説得され、仕方なく引き受けた気持ちの方が強かった様に思います。十八年経った今は、思いやりの心を持って一杯対象者に寄り添っているつもりです。保護司を引き受けたその年に柏地区で千葉県更生保護大会が行われまし

た。私は、保護司になって直ぐにもかかわらず、大会で国家斉唱の指揮を仰せつかりましたが、主人の病で舞台に立つことは叶いませんでした。そして今年会長になり、来年は、柏地区で千葉県更生保護大会が開催されます。主人が、天国から「今度は頑張って成功させてくれ」と言っている様に思えてなりません。是非、皆様のお力をお借りして柏地区保護司会が一丸となり、思いやりの心を持って成功させたいと思っております。さて、今年の保護司会の目標であります『保護司会活動を充実させよう』を基に社会奉仕の精神を持ち、過ちに陥った人々は勿論全ての人々に思いやりのある優しい気持ちで忘れずに努力して参りたいと思います。是非、ご協力をお願い致します。



「瀬戸山賞」に想う

柏支部長 高橋洋子
瀬戸山賞は平成九年に逝去した瀬戸山三男氏の功績を記念し、平成十一年より更生保護制度施行五十周年を機に設けられました。そこにある同氏の名前に私の眠っていた遠い記憶が呼び起され、郷愁にも似た不思議な懐かしさを覚えたのです。同氏は私の故郷である宮崎県都城市の市長を務め、その後、国政に出て法務大臣、建設大臣等の要職を歴任した方です。何故こんなに深く記憶にあるのだろうと、過去の記憶を辿るとそこに父の存在があり、父が最も敬愛し支持した人物だったからだと思えます。同氏の話を誇らし気にする父を介して私も立派な人物として記憶付けられたかもしれない。「今日は瀬戸山氏と飲み会だ」とか「瀬戸山先生の話が聞かに行くと、同氏に会える事を嬉しそうに話す父の笑顔を思い出します。

父の敬愛する人物が更生保護の発展に大きく貢献し、永年に渡り正に「仏の慈悲の権化」として菩薩の道を実践し、事業の発展に大きく貢献した人物で、その遺徳を偲んで功労を記念したのが瀬戸山賞だと知りました。我が国の更生保護事業に深い理解を示したこの素晴らしい人物を、父は敬愛したのだと改めて思い知る事ができました。私にとって父は尊敬できる大きな存在で、幼い私には理解できていませんでしたが、自営の父が貧窮にある人や困苦の人に職を提供し、受容し導く姿を覚えています。人に心を配る父の優しさは、共通する理念に準じるもので、堅実な生き方と器の大きさは私の中の父そのもののなのです。同氏の一徹さは、ロッキード事件の際、盟友田中角栄に、議員辞職勧告の書簡を送り、進退を問うた事もあったと聞きます。山口地裁判事を務め

た同氏は、更生保護事業への強い思いと「志操堅固」の信念を持ち、貫いた生涯だったであろうと拝察致しました。今、瀬戸山賞から繋がつた懐古の情に不思議な縁を感じます。

祝 藍綬褒章受章
受章おめでとうござい
ます。（敬称略）
令和六年四月二十九日付
☆角川よね（我孫子）

退任保護司
ご苦労様でした。ありがとうございました。
（敬称略）
令和六年二月二十九日付
★金子行雄（柏）
令和六年三月三十一日付
★飯田信義（流山）
令和六年五月二十四日付
★角川よね（我孫子）
令和六年六月三十日付
★加藤民彌（柏）
★松島 紀（我孫子）

訃報
心からのご冥福をお祈りいたします。（敬称略）
令和六年四月六日逝去
■坂田トキ子（柏）

新任保護司
よろしく願います。
（敬称略）
令和六年三月一日付
◇山本 新（柏）
皆さん、はじめまして。令和六年三月に柏地区保護司会に所属しました山本新と申します。私は、平成六年生まれの三十歳で柏地区保護司会最年少といわれていますが、その若さを武器に、機動力と令和の時代に則した考え方を基礎にして保護司活動を行いたいと考えております。現職は、福祉事業を営む会社の役員をしております。私自身、主に障害者や高齢者の生活相談を担っており、対人援助の経験を活かして地域社会をより良いものにするために全力で取り組みますので、どうかよろしくお願い致します。

令和六年七月一日付
◇桐林千登勢（柏）
普段はNPO法人の更生支援事業部で非行・犯罪をした若者の社会定着支援をしています。保護司としても経験と学びを得ることで、より社会に貢献できるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

◇富沢良太（柏）
七月一日より就任いたしました柏地区新任保護司の富沢良太と申します。生まれ育った柏地域を犯罪のおきにくい、明るく住みやすい地域社会にしたい思いから保護司の活動を決意致しました。これから諸先輩方にご相談させていただく事があると思いますので、ご指導のほどよろしくお願い致します。

編集後記
今号から紙面をリニューアルしました。「文字を大きく」し、「写真を多用」し、「特集記事」を載せました。また、柏市のPRキャラクター「カシワニ」や我孫子市マスコットキャラクター「手賀沼のうなぎちゃん」にも登場いただき、紙面をなごませていただきました。感想はいかがでしょう？それと、この紙面作りもPCソフトを使って広報部員が手作り（実際にはPCで作成）しています。手作り感が満載ですね！（笑）
「紙面が手作り」で驚きもあると思いますが、IT技術の発達で当然のことと言えば当然のことでしょうか。時代はDX化で進歩していますが、保護司の使命は変わっていません。引き続きご支援ご指導のほど宜しくお願い致します。（M・K）



